

(案)

令和 7 年 10 月 日

廿日市市長 松 本 太 郎 様

廿日市市総合計画審議会
会 長 山 川 肖 美

廿日市市総合計画について（答申）

令和 6 年 7 月 25 日付けで諮問のあったことについて、当審議会において調査及び審議を行った結果、廿日市市の今後 10 年間のまちづくりを推進するための指針となる計画として「はつかいち未来ビジョン 2035(案)」のとおり答申します。

なお、計画の推進にあたっては、以下の点について配慮されるよう申し添えます。

- 1 まちづくりの基本理念及びまちの将来像の実現に向けて、市の特徴や変化する社会情勢、市民の意見を踏まえ、「4つの大切に考える考え方」（①社会変化に対応したまちづくり、②安全・安心な暮らしの確保、③多様性と包摂性のある地域社会の実現、④多様な主体によるまちづくり）を念頭に置き、各分野の施策を着実に推進してください。
- 2 まちづくりに関わる多様な主体と計画の趣旨・内容を共有し、ともにまちづくりに取り組めるよう、分かりやすい計画の作成と丁寧な情報発信を行うとともに、こどもや若者など次世代が参画しやすい環境づくりに努めてください。
- 3 総合計画に基づく施策を着実に推進するため、限られた経営資源を有効に活用し、事業の適切な評価・検証を行い、時代に即した事業展開に努めてください。
- 4 本審議会での審議過程において出された各委員の意見・提案の趣旨を可能な限り尊重し、今後の市政運営に活かしてください。